

全20プロジェクト実施 (2019年度実績)

アートやデザインは、私たちの社会を支える基盤としてますます重要になっています。近年、地域活性化のためのクリエイティブな発想力やアートのコンテンツが急増している事実がその証と言えます。

九州産業大学造形短期大学部は、九州で唯一の美術デザイン系短期大学として開学以来、アートやデザインの発信地の役割を50年の長きにわたり継続してきました。大学で学ぶさまざまな専門性が、地方自治体や企業から必要とされています。

そういった地域とのコラボレーションによって、学生の実践力や責任感、コミュニケーション能力や幅広い視野を養います。すなわちこれは、学生とクリエイター分野の第一線で活躍する教員とが一緒になって、より良い社会の実現を目指すプロジェクト型教育なのです。

企業や地域社会と協働しながら社会的課題を解決するプログラムとして、本学はクリエイティブな感性と技術を現場でリアルに体験できる、このようなプロジェクト型教育を実施しています。九州産業大学造形短期大学部の学生は全員、このプロジェクトに積極的に参加することがカリキュラムに組み込まれています。

学生の社会的実践を通じて、近未来のための基礎を育むこと、そして社会に貢献すること、およびその価値や意味を認識すること。そのような経験を積むことによって、卒業後、彼らの社会への積極的参画と自立を支援して参ります。



ZOKEI × 地域



高齢者の写真撮影プロジェクト

糟屋郡須恵町で高齢の方々を対象に遺影を撮影しプレゼントしたこのプロジェクト。この撮影会は、高齢者の孤独死などが増える中で、高齢者に社会との関わりを感じてもらうとともに、学生に高齢者問題を社会の課題として身近に捉えてもらおうと、本学教員が企画したもので、実施後何通もの感謝のお手紙をいただくほど、反響の大きい取り組みです。

ZOKEI × 企業



ワークショップコレクション

九州造形短期大学部×(株)グッディによるこども創作イベントで最大規模となる「ワークショップコレクション」プロジェクト。本学は、親子で工作体験「かいじゅうの時間」を実施し、大きな紙袋に、角や牙に見立てたパーツでデコレーションし、怪獣を制作するワークショップを開催。参加した学生は対応能力、共同作業能力、企画・実践力が身につきます。